

【 国立交響楽団ホールで 能「安達原」を上演】

- シビウの観客のレベルの高さ。
日本と全く同じように能を上演してほしいとの
依頼。(公演前の解説やワークショップはなし)
- チケットは即日完売、立ち見の方も出る中、
スタンディングオーベーションを受ける。



(会場の国立交響楽団ホール)

ルーマニア人だけでなく、
アメリカ人、オーストラリア人
など世界中からの観客。

■ルーマニアのメディア約20で取り上げられる。

鬼女の装束の華麗さ、謡の深い声、和楽器の響きなどを含め、かつて知らなかった伝統芸能の美に驚いた！

キリアック氏のコンサルタントでもあるパリ在住の演劇評論家、ジョルジュ・バニュ氏のコメント
「能に初めて出会う文化の違う環境で育った観客が、舞台に引き付けられている様子に心を打たれた」



■ 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局による、オリンピックパラリンピックに向けた「文化を通じた盛り上げ」にかかる試行プロジェクトを受託。

(オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査文化を通じた機運醸成試行プロジェクト)

■ 新作能「水の輪」

- ・水都大阪2009の最終日を彩るイベントとして、当時新しく整備された天満橋・八軒家浜で開催。
(大阪観光局助成事業)
- ・水の浄化をテーマに環境問題を考える新作能。伝統芸能の力で「水を大切にする気持ち」で世界を一つに結ぶ。
- ・これまでに国内外で15回再演を繰り返してきた。



大阪発の文化イベントで、2020年のオリンピック・パラリンピックを
盛り上げさせていただければと思っています。

